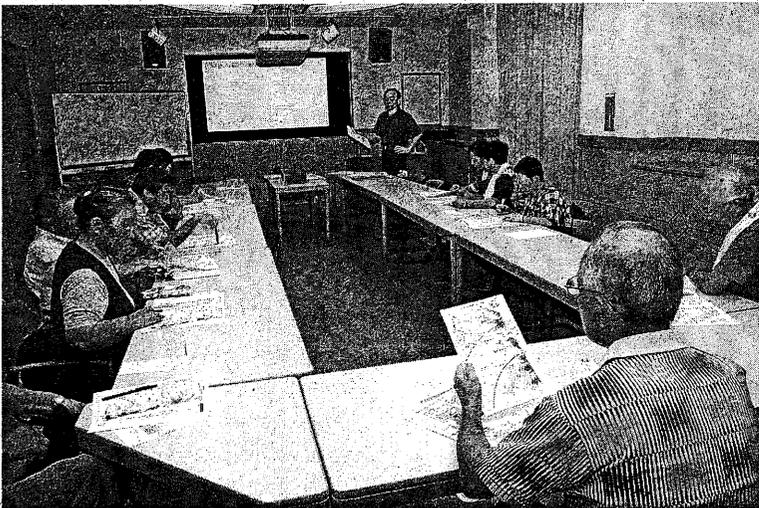


岡谷

「原発は全て廃炉に」

すわこ文化村 毛利代表が講演



脱原発を呼び掛けた毛利代表による講演会

すわこ文化村（毛利正道代表理事）は2日、「映像で見るフクシマの現実と明日の人類」と題した講演会を岡谷市長地権現町の諏訪湖ハイツで開いた。毛利代表理事が講師を務め、自ら撮影したビデオ

や資料映像を交えながら「全国にある50基の原発は全て廃炉に」などと訴えた。

毛利代表は2月に福島県南相馬市、3月に稼働前に廃炉になったフィリピン原発内部を視察し、映像に残している。講演では福島原発事故を振り返り「1年経過した今で

も放射線量が高く、内部がどうなっているのか分からない。大変な恐怖」と述べた。

「原発事故の直接的な影響による死者はいない」という考え方に真っ向から反対し「原発事故による立ち入り禁

Canon
コピー機・FAX
ミフジOAX
858-2331

止20き圏内では、避難指示のせいでがれきの下で救助を待つ人が置き去りにされた。移動させてはいけない人も無理に動かしたために大勢死亡した。みんな原発事故のせいで亡くなった人たちだ」と展開。「国策として脱原発を決定し、省エネ、自然エネルギーにお金と人材を投入すべきだ」と主張した。

（野村知秀）